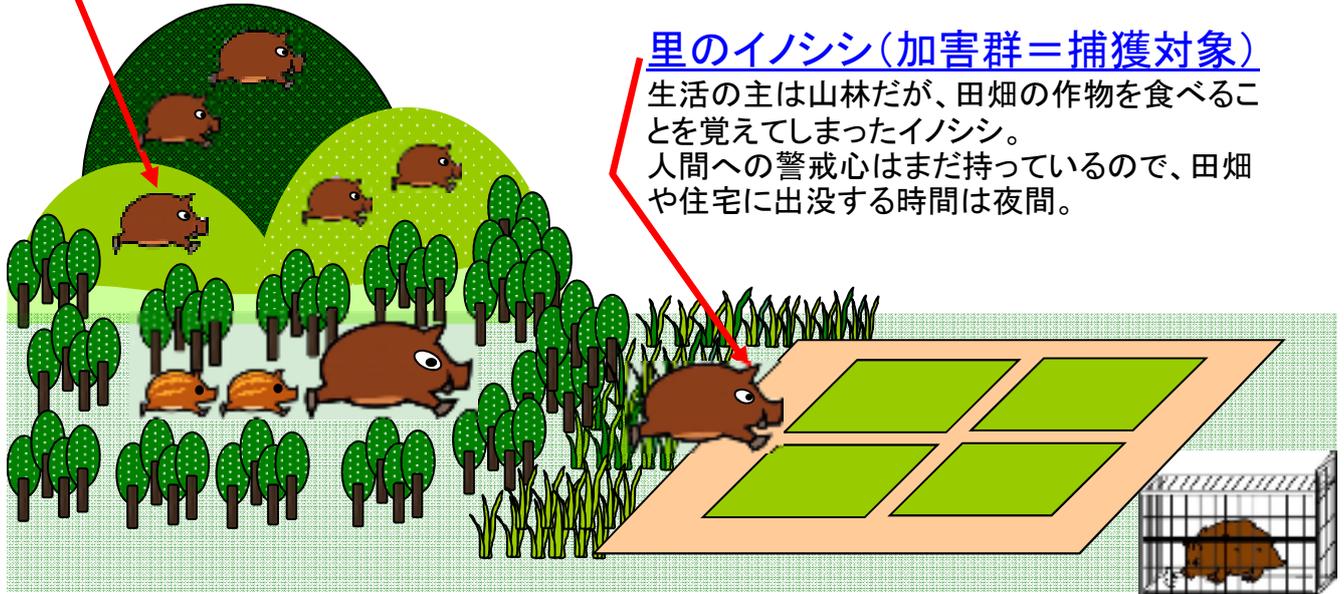


効果的な捕獲の実施

山の10頭より里の1頭を捕獲

被害を起すのは集落周辺に潜むイノシシです。加害群を確実に捕獲し、被害を防ぎましょう。

山のイノシシ(非加害群)

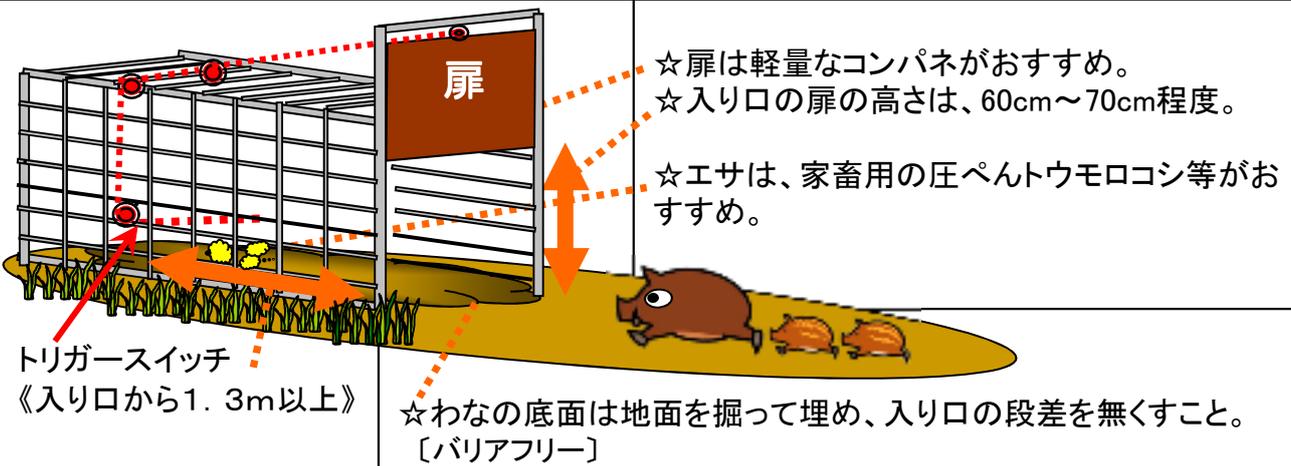


里のイノシシ(加害群=捕獲対象)

生活の主は山林だが、田畑の作物を食べることを覚えてしまったイノシシ。
人間への警戒心はまだ持っているため、田畑や住宅に出没する時間は夜間。

箱わなの設置ポイント

☆設置時期は、春より前に設置する(草が生えて獣の警戒心が和らぐ)



☆捕獲の原則は【群れごと獲る】

箱わなを設置するときは、幼獣がトリガーに触った位ではトビラが落ちず、成獣がトリガーに触れたらトビラが落ちるように、トリガーの強度と高さを調整してセットする。

ICT等を使用した効果的・効率的な捕獲

県では、効果的・効率的な捕獲を進めるため、遠隔監視装置と大型囲い罠を使用し、イノシシやシカなどの大量捕獲実証に取り組んでいます。

(特徴)

大型の囲い罠、捕獲檻を遠隔監視装置と組み合わせて、獣を群れごと捕獲するもの。獣の群れの生息数、行動範囲等を把握したうえで適切な場所に設置すれば、餌付けにより群れごとの大量捕獲につなげることが可能。

(平成28年度実証場所)

イノシシ・シカ

今治市、八幡浜市、西予市
サル
西条市、松野町

捕獲装置の仕組み

センサーが獣を感知



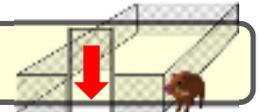
通知メールが届く



檻の映像を見ながら



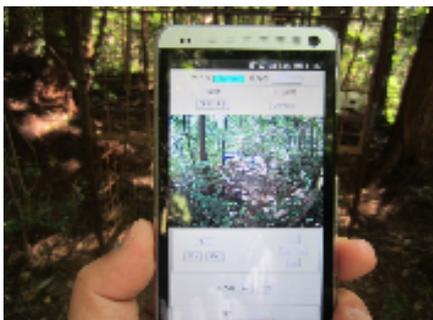
遠隔操作で扉を閉める。



監視用の暗視カメラ



大型の囲い罠



スマートフォンでの罠の監視



現地から配信されるライブ映像

捕獲を行なう際は、法令等を遵守して行いましょう。

被害対策としての捕獲(有害鳥獣捕獲)には、狩猟免許と、捕獲許可が必要です。箱わな、囲いわなで捕獲するには、わな猟免許が必要です。